

平成28年度第4回理事会議事概要

日 時 : 平成28年7月8日(金) 15:30~16:15

場 所 : 森林総合研究所特別会議室

出席者	: 理事長	沢田 治雄
	理事(企画・総務・森林保険担当)	桂川 裕樹
	理事(研究担当)	田中 浩
	理事(育種事業・森林バイオ担当)	渡邊 聡
	理事(森林業務担当)	奥田 辰幸
	理事(法令遵守担当)	三木 眞
	監事	鈴木 直子
	監事	平川 泰彦
	総括審議役	上野 司郎
	総括審議役	大貫 肇
	総括審議役	國井 聡
	審議役	河野 晃
	企画部長	高橋 正通
	総務部長	松本 寛喜

1. 開会

2. 議事

(上野総括審議役)

ただいまより、平成28年度第4回理事会を開催いたします。本日は議題1件と報告事項が5件となっております。順次説明をお願いいたします。

I-1. 平成28年度会計監査人候補者の選定について

(桂川理事)

会計監査人候補者の選任の手続きにつきましては、本年3月10日の理事会承認後、提案書の募集及び候補者の選定手続きを進めて参りました。先般、6月28日に会計監査人候補者審査委員会を開催いたしまして、以下のとおり会計監査人候補者を選定しましたので、理事会の承認を得て、農林水産大臣への選任請求を行うことといたしております。

候補者は有限責任監査法人トーマツでございます。

候補者とした理由は次のとおりです。

提案書の募集広告を森林総合研究所のホームページに掲載したところ、優成監査法人、東陽監査法人、有限責任監査法人トーマツ及びPWCあらかた監査法人の4者から提案書の提出がございました。審査会における選定にあたりましては、各監査法人の提案書に基づき、監査実績、監査体制、監査費用等の定量的評価と、監査の取組方針、監査手法、監査のサポート体制等の定性的評価を行いました。

提案のあった4者のうち、有限責任監査法人トーマツは、これらの評価点が最も高かったこと、研究開発に加え、金融業務、公共事業執行業務を行う当所の性格を踏まえた監査計画が他の監査法人より詳細かつ具体的であったこと等から、同監査法人を当所の会計監査人候補者としたものです。

(上野総括審議役)

本件は理事会で承認を得られましたので、農林水産大臣へ選任請求書を提出したいと思っております。

II-1. 調達等合理化計画の策定について

(松本総務部長)

調達等合理化計画ですけれども、これは昨年度初めて策定しまして今回が2回目の策定になります。策定の経緯でございますが、本年5月に当所の契約監視委員会でご討議いただきまして6月に主務大臣に報告書を提出しました、したがって今回は報告事項という取扱でご説明させていただきます。

資料の1をご覧ください。調達の現状と要因の分析でございます。1の(1)が当所における契約状況ということで、表1にその全体像がございます。平成26年度と平成

27年度の比較になっておりまして、競争性のある契約、競争性のない契約とも増えております。競争性のない随意契約増加の主な要因は、森林保険に係る委託契約が新たに発生したこと、新規委託研究事業の受託の増加に伴い研究用特殊物品等の調達が増加したことによるもの等でございます。（2）が一者応札・応募の状況でございます。こちらも増加の主な要因は、新規委託研究事業の受託の増加に伴うものです。

資料の2は重点的に取り組む分野でございます。2の（1）研究開発用及び業務運営に係る物品・役務等の調達及び（2）一者応札・応募の改善につきましては、それぞれ取り組むべき事項を記載いたしました。

資料の3は調達に関するガバナンスの徹底でございます。当所が昨年12月に公表しました「国立研究開発法人森林総合研究所における不適正経理処理事案に係る調査報告書」における再発防止策につきましては、資料の3の（1）及び（2）に記載しました検収の徹底及び研究費執行マニュアルの作成等を含めて、引き続きこれを継続することとしております。また、調達ガバナンスの徹底を図るため、（3）には随意契約審査委員会による点検の措置についても併せて行うことを記載しています。

（渡邊理事）

自己評価については大臣に報告して評価を受けると書いてありますが、どのようになっていますか。

（松本総務部長）

主務大臣に報告し、必要に応じて主務大臣より各法人に対する指導及び助言を行うこととなっておりますが、今のところ特にございませぬ。

II-2. バイオマスエキスポ2016への出展について

（高橋企画部長）

「バイオマスエキスポ2016」が6月15日～17日の3日間、東京国際展示場（東京ビッグサイト）東ホールにおいて開催され、森林総合研究所として展示ブースを出展しました。多くの方に来ていただき非常に盛況でございました。また日本再興戦略2016にも木質バイオマスの有効利用が大きく取り上げられまして、その面からも展示したセルロースナノファイバー、リグニン、バイオマス発電、トレファクション等の展示物は非常に興味を持って見ていただいたと思います。来場者の多くは企業の方々に、産学官連携の面からのPR効果が大きかったと思います。

II-3. 化学物質管理システム（CRIS）の運用開始について

（高橋企画部長）

化学物質管理システム（CRIS）という情報データベースの運用を開始しました。化学物質は、健康障害や環境汚染等に結びつくものであり、また危険物として有害性、火災

・爆発などもありますので、適正かつ厳密な管理が必要です。

これまではそれぞれの研究室で管理しておりましたが、今回統一的に管理できるデータベースを導入いたしました。現在は手持ちの化学薬品を登録するとともに新規に購入する試薬については納品の都度登録した上で保管するという体制を取っているところでございます。

ガイドラインを作成しまして、先日は外部の先生を講師に招き教育訓練を実施したところでございます

今年度中に全件登録を済ませて、今後事故の無いように運営を進めて参りたいと考えております。

II-5. 森林整備センター職員新規採用試験の結果について

(國井総括審議役)

森林整備センターの平成28年8月1日付け採用について、募集をかけたところ58名の応募がありまして、一次試験、二次試験を行いまして最終的に7名の者を採用することにしました。そのうち1名につきましては現在の仕事との兼ね合いがありまして9月1日採用予定としているところでございます。

7名のうち女性が5名で、率にすると7割くらいになります。本年4月1日採用が男女各1名でしたので、全体としては本年採用した9名のうち6名が女性、3分の2は女性という結果になっております。これまでも女性の採用について留意していたところでございますが引き続き心がけて行きたいと考えております。

(鈴木監事)

今回の採用者に技術職の女性はおられますか。また事務職で採用になって技術職に変わることは可能ですか。

(國井総括審議役)

今回は技術職として4名採用し、そのうち2名が女性です。事務職で入って技術職に変わった者も過去に何名かおります。

(上野総括審議役)

本日の報告事項は以上でございます。

これで平成28年度第4回理事会を終了いたします。

次回の平成28年度第5回理事会は8月5日(金)に林木育種センターにおいて開催予定です。

3. 閉会